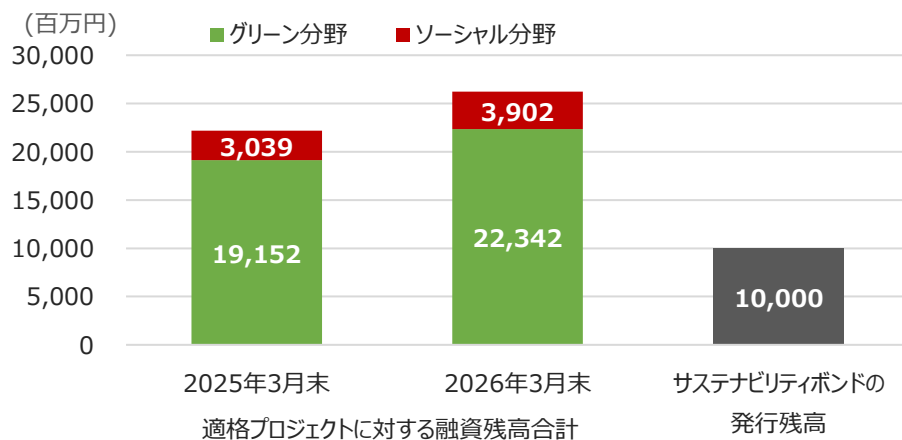


- 第5回期限前償還条項付無担保社債（サステナビリティボンド）の発行額100億円は、2026年3月末までに、全額をフレームワークにおける適格クライテリアを満たすプロジェクトに充当しました。
- 充当状況は、以下の通りです。なお、当該レポーティングはサステナビリティボンドの残高が存在する限り年次で開示予定です。

1. 資金充当状況に関するレポーティング

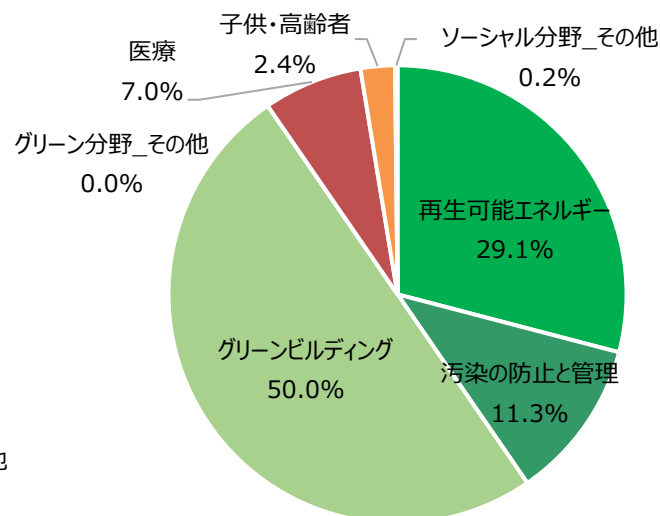


項目	金額(百万円)
充当済金額合計	10,000
新規融資	10,000
既存融資のリファイナンス	—
商工中金の設備投資等の新規支出	—
未充当金額	0

2. プロジェクト、カテゴリー毎の資金充当割合

項目	融資残高合計 (百万円)	充当済金額 (百万円)	充当割合
合計	26,244	10,000	100%
グリーン分野	22,342	9,040	90.4%
ソーシャル分野	3,902	960	9.6%

- 再生可能エネルギー
- 汚染の防止と管理
- グリーンビルディング
- グリーン分野_その他
- 医療
- 子供・高齢者
- ソーシャル分野_その他



※融資残高は2026年3月31日時点の実績です。充当済金額は、融資残高のうち、融資実行日（複数回に分けて実行した場合は初回実行日）が早いものから順に充当し、サステナビリティボンドの発行額に達した際には、その時点での最後の融資は部分的に充当する扱いとしています。

グリーン分野	充当金額 (百万円)	件数 (件)	インパクトレポート指標
再生可能エネルギー（太陽光）	1,120	2	● CO ₂ 排出削減量 6,995t-CO ₂ /年（実績値**）
再生可能エネルギー（バイオマス）	1,569	2	● CO ₂ 排出削減量 24,143t-CO ₂ /年（実績値**）
再生可能エネルギー（その他*）	218	1	（対象プロジェクトは現状未稼働。2026年8月以降稼働開始予定）
省エネルギー	0	0	—
汚染の防止と管理	1,133	2	● 廃棄木くずを成型したパーティクルボード製造（製造実績112,889t/年） ● 地域の廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さを原料としたRPF 固形燃料製造（実績非開示***）
クリーンな運輸	0	0	—
グリーンビルディング	5,000	1	● DBJ Green Building 認証ランク 5 維持（当金庫貸出対象物件）
その他	0	0	—
計	9,040	8	

* 充当PJ 1 件は中小水力（30MWh未満）

** プロジェクト全体のインパクトであり、当金庫の融資割合に応じたインパクトではありません。また、年 1 回のモニタリングで確認したプロジェクトにおける年間発電量×当該エリア管内電力会社の基礎排出係数（環境省）により当金庫でCO₂削減量実績を推計しています。

*** 融資先の開示了承が得られていないため、目標非開示としています。

ソーシャル分野	アウトプット指標		アウトカム指標	インパクト
	充当金額 (百万円)	件数 (件)		
医療	700	1	● 各種医療用器具の製造 ● クリニック（耳鼻科・皮膚科） 1 棟新設 ● 有床診療所（整形外科等） 1 棟新設 ● クリニック（内科・人工透析） 1 棟新設 ● 総合病院 1 棟新設（病床数：156床） （2026年3月末時点での継続稼働を確認）	医療サービスの拡充
子ども	0	0	—	—
高齢者	242	1	● 介護老人保健施設 1 棟新設（定員：入所114 名、デイケア30 名） （2026年3月末時点での継続稼働を確認）	高齢者福祉サービスの拡充
障がい者	0	0	—	—
災害対応	0	0	—	—
その他	17	1	● 有機ドライフルーツや有機ナッツ等の仕入（フェアトレード） （2026年3月末時点での取組継続を確認）	生産者の収入の安定、 生産・生活基盤の充実
計	960	3		